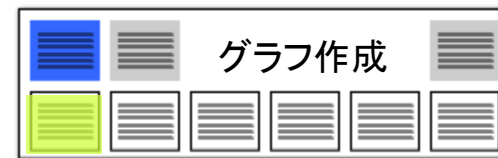


【グラフ作成機能】

☑ グラフブラウザの紹介



グラフ作成機能1



▶ **グラフ作成:軸の選択** **マウス操作だけですぐにグラフが再現できる**

▶ **ここでの注意ポイント!**

The screenshot shows the software's menu system. On the left, a tree view under 'マイメニュー【マニュアル用】' (My Menu [Manual Use]) shows '出願人(出願数)' (Applicant (Number of Applications)) and '抽出条件' (Extraction Conditions). An orange callout points to the '出願人(出願数)' item, stating 'クリックすると、項目が展開される' (Clicking expands the item). Another orange callout points to the '出願人(出願数)' item, stating 'クリックでグラフが再現' (Clicking reproduces the graph). On the right, three graphs are displayed: '棒線グラフ' (Bar Chart), '折れ線グラフ' (Line Chart), and 'バブルチャート' (Bubble Chart). The bar chart shows data for six categories with values ranging from 1000 to 1500. The line chart shows multiple data series over time. The bubble chart shows data points as bubbles of varying sizes.

■ グラフの種類

- 棒グラフ・・・棒の長さが量を表します。項目ごとの量を比較する際に便利です。
- 折れ線グラフ・・・量の変化を知るとともに、量の中間値がわかるなどの利点があります。
- バブルチャート・・・縦軸、横軸、円の大きさで、3つの項目の関連性を表すことができます。

※ ワード分解機能を使用していない場合は、キーワードを軸としたグラフの作成ができません。



グラフ作成機能2



▶ グラフ作成:総合ランキングとの連動

総合ランキング

分析条件

キーワード FI Fターム IPC ステータス情報

テーマコード ファセット 権利者_ 公報種別

公報種別_国_ 重要度1 重要度2 重要度3 重要度4

重要度5 重要度6 出願人_ 発明者_ 筆頭IPC

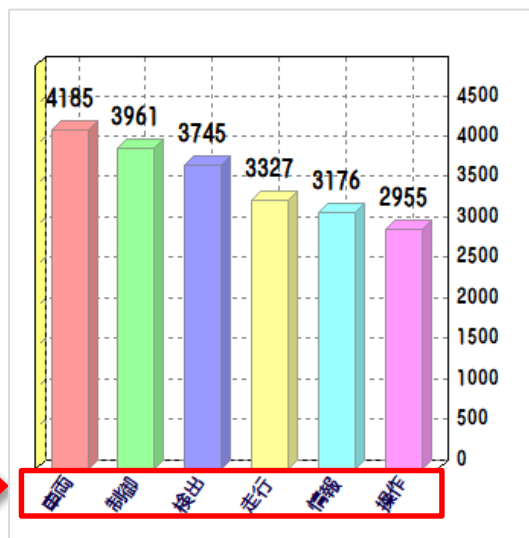
対象:全文書 (1329件)

全チェック 全解除 PMGS

抽出条件に反映 抽出に反映して実行

順位	出現数	△文書	データ	グループ
1	69531	1324	リチウム	Li / Li / Li
2	55082	1301	固体電解質	
3	27441	1275	形成	
4	25398	1272	バッテリー	電池/バッテリー
5	13437	1236	アルミニウム	Al / a l / アル...
6	30343	1217	材料	Material
7	24843	1184	カソード	正極/陰極/空気...
8	11680	1181	リチウムイオン	Li イオン / Li
9	12732	1175	混合	
10	16167	1166	製造方法	作製方法/製造...
11	13290	1163	測定	
12	21747	1162	アノード	負極/陽極/アノ...
13	17250	1148	作製	
14	12447	1143	範囲	領域/ゾーン/エ...
15	14339	1135	厚さ	厚み
16	28218	1121	正極活物質	
17	16759	1105	電解質	

総合ランキングでチェックを入れた項目が軸となる



総合ランキングのチェックとグラフの軸が連動する

▶ ここでの注意ポイント!

■ 総合ランキングとの連動

『総合ランキング』で、チェックをつけた項目が、グラフの軸となります。
チェックを活用することで、希望のキーワードや出願人等を軸としたグラフが描けます。

- ※ 『総合ランキング』の表示数(集計順位の上限)は、環境設定で変更することができます。
- ※ グラフの軸にしたいワードや出願人名などが見つけないときは、検索機能をご利用ください。マウスの右クリックメニューからご利用いただけます。
- ※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されます。

軸項目の設定

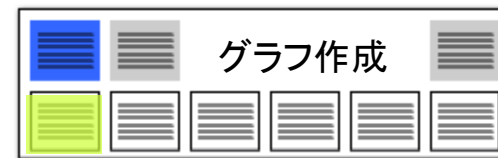
全選択 全解除 総合ランキングから取得 一括更新

総集計の集計 する 総集計のみ

出現数	文書数	データ	グ...
1	31402	1000	自動運転(日...
2	51840	931	車両(日本語...
3	14551	809	設定(日本語...
4	8708	784	出力(日本語...
5	15587	757	情報(日本語...
6	16286	718	判断(日本語...
7	7825	718	操作(日本語...
8	20795	947	コントロール...
9	19704	902	検出(日本語...
10	13485	831	位置(日本語...
11	12080	749	走行(機能性...
12	4381	706	対応(日本語...
13	5982	654	信号(日本語...

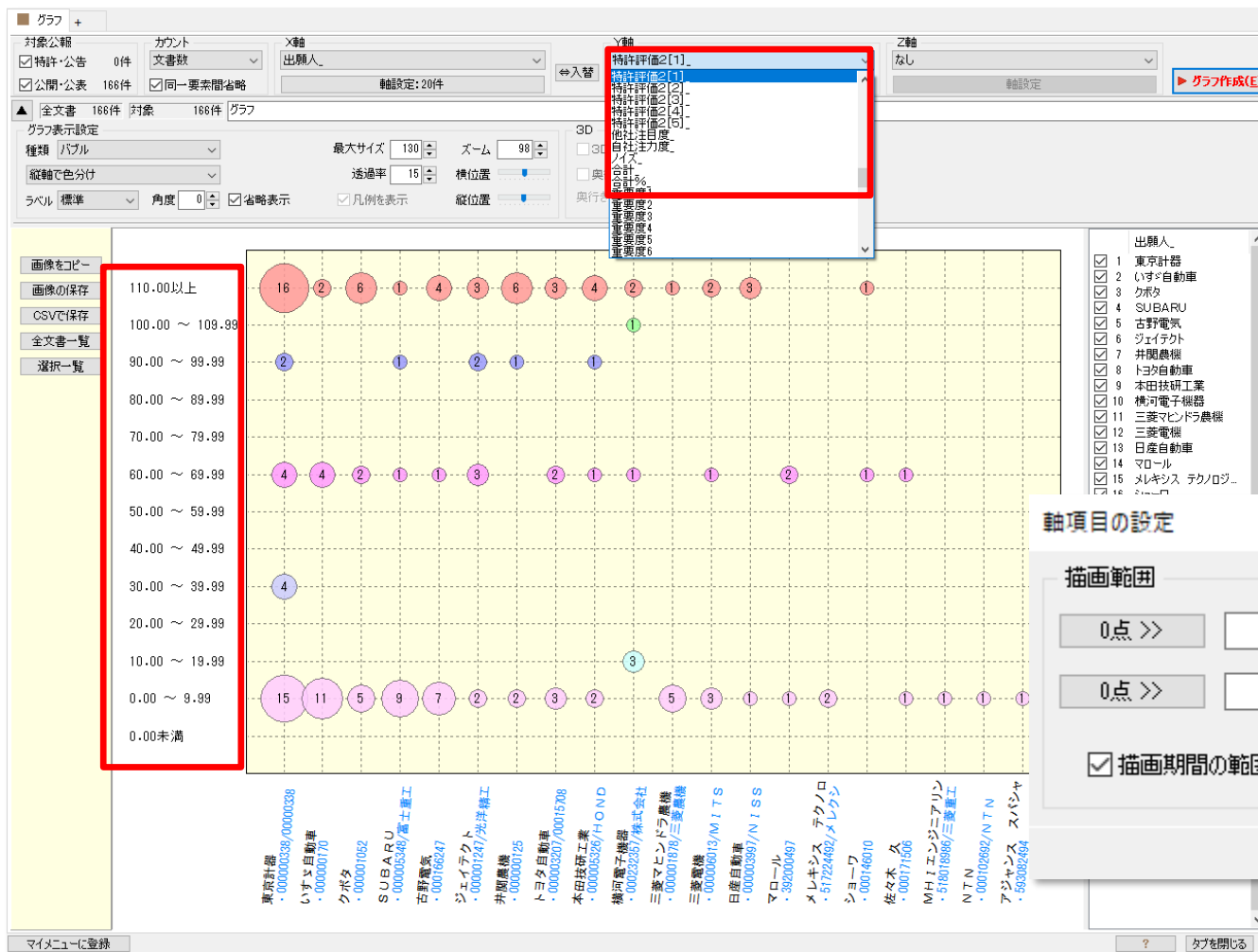


グラフ作成機能3



▶ グラフの軸:「特許評価」「ノイズ」「合計」「合計%」

描画する点数範囲も設定できる

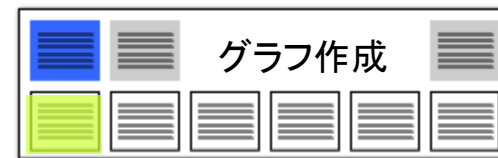


- グラフの軸に、「特許評価1」「特許評価2[1-5]」「ノイズ」「合計」「合計%」が選択できるようになりました。
- 「合計」はスコアからノイズを減算したものです。「合計%」は、合計を100分率表示したものです。
- 軸設定において、下図のように点数範囲や軸の表示順番等を設定することができます。

何点毎に集計してグラフにするか等が設定できる



グラフ作成機能4

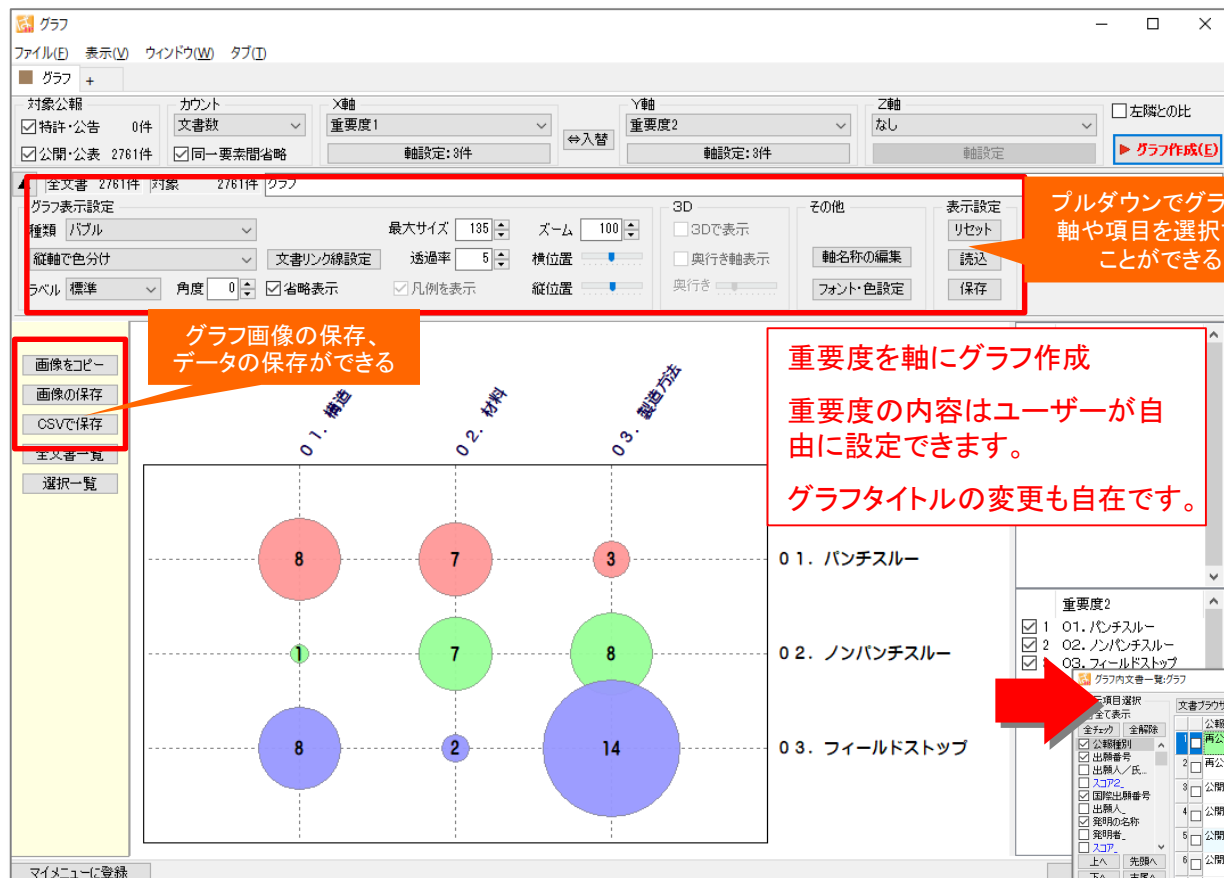


グラフ作成

※「ぱっとマイニング・ビューア」では、
一時的な再現のみが可能

▶ グラフ作成: グラフブラウザでの軸選択

▶ ここでの注意ポイント!



■ グラフブラウザでの軸選択

グラフの種類、集計対象、横軸項目、縦軸項目を、プルダウンで選択することができます。
〔縦横入替〕ボタンをクリックすると、グラフの縦軸項目と横軸項目をワンクリックで入れ替えることができます。

■ グラフ画像の保存

〔画像の保存〕ボタンをクリックすると、グラフ画像を画像ファイルとして保存することができます。
[グラフ画像をコピー]ボタンをクリックすると、グラフ画像をクリップボードにコピーします。そのままエクセルに貼り付けるなど、ご活用いただけます。

※ 〔CSV形式で保存〕ボタンをクリックすると、グラフ作成のもととなる数値データを、CSV形式で保存することができます。

グラフをクリックすると・・・

「グラフ内文書一覧」が表示される

項目選択	全項目反転	全項目削除	全項目印刷	全項目コピー	全項目保存	全項目削除	全項目印刷	全項目コピー	全項目保存
重要度1	重要度2	重要度3	重要度4	重要度5	重要度6	重要度7	重要度8	重要度9	重要度10
01. 構造	02. 材料	03. 製造方法	04. 試験方法	05. 評価方法	06. 改善方法	07. 廃止方法	08. 廃止方法	09. 廃止方法	10. 廃止方法



グラフ作成機能5



グラフ作成

▶ グラフ作成:軸項目の詳細変更

グラフの軸設定がその場で変更できる

軸項目の設定

全選択 全解除 総合ランキングから取得

総合計の集計 ☐ する ☒ 総合計のみ ☐ その他をまとめる

集計基準 ☐ 出現数 ☒ 文書数 区別指定 全部

どれか含む 10/

項目欄をクリックすると、昇順・降順にソートできる

チェックを入れた項目がグラフの軸になる

軸設定: 20件

軸設定: 20件

軸設定

ここでの注意ポイント！

- 軸設定ウィンドウ

〔選択〕ボタンをクリックすると、『軸設定』ウィンドウが立ち上がり、チェックボックスで軸項目の詳細を設定することができます。
- 〔デフォルト〕ボタン

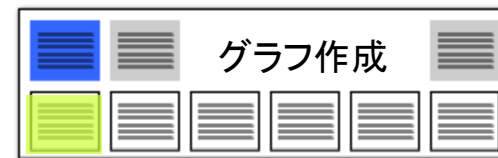
『軸設定』ウィンドウの〔デフォルト〕ボタンをクリックすると、総合ランキングでの選択状態に戻すことができます。
- 総合計を集計する

選択したワード等の総合計を軸に加えます。
- 抽出条件の入力枠

入力した文字を持つ候補を絞り込んですばやく設定出来ます。



グラフ作成機能6



グラフの権利状態判定の「軸項目の設定」

存続期間完了日から権利消滅を判定！！

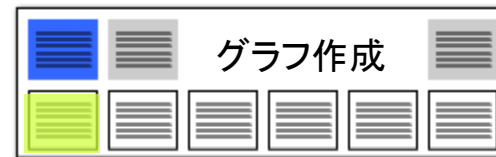
グラフの軸項目に、『権利状態詳細判定』か『権利状態簡易判定』を選択した場合、
「軸設定」をクリックすると、左のような「軸項目の設定」画面が表示されます。

- 存続期間満了日を過ぎた公報を権利無効とする
…グラフ作成時に、経過情報の「存続期間満了日」を過ぎている場合、
当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。
- 存続期間満了日の記載のないものは出願からの年数で判断する
…「存続期間満了日」のデータがない場合は、出願日から20年を
経過している場合に、当該公報を「権利化後消滅」または
「権利化前消滅」に分類します。
- 特許公報の存続期間を25年とする(医療系特許など)
…「存続期間満了日」のデータがない場合は、出願日から25年を経過
している場合に、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」
に分類します。
- 次期納付期限を過ぎたものを権利無効とする
…グラフ作成時に、経過情報の「次期納付期限」を過ぎている場合、
年金不納と判定し、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」
に分類します。
※ 経過情報が最新でない場合は、データ取得後に年金が支払
われ、権利が抹消されていない場合があるため、注意が必要
です。

※ JP-NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。ぱっとマイニングで読み込み可能な形式は、「テキスト形式」と「CSV形式」です。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

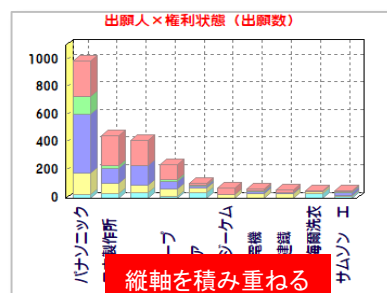
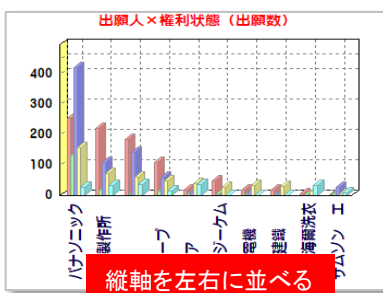
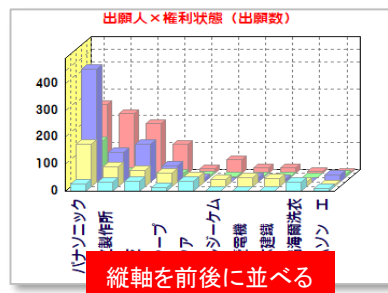
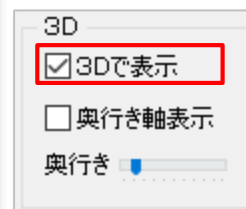
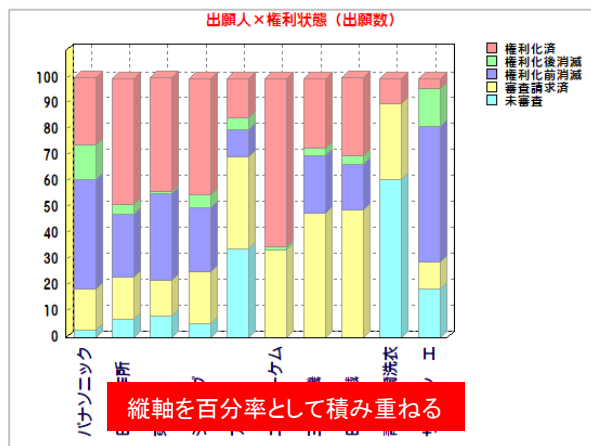
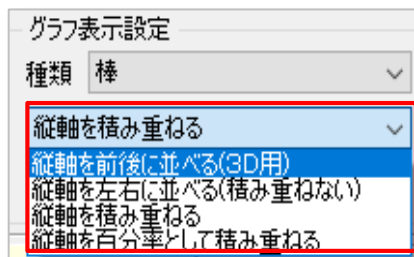


グラフ作成機能8



▶ 表現方法の変更

棒グラフで割合を表示



▶ ここでの注意ポイント！

■ グラフ表示設定の変更

グラフの種類で、『棒グラフ』『バブル』『バブル3D』『複数棒』『複数バブル』を選択すると、縦軸の並べ方やバブルの色分けなどを選択する、プルダウンが表示されます。

■ 百分率の活用

「縦軸を百分率として積み重ねる」を選択すると、横軸に対する縦軸項目が、文書数ではなく比率(%)で表現されます。

左図のように、出願人別の権利状態など、割合を対比させたい場合に効果的です。

■ 3D設定

3Dの「3Dで表示」をチェックすると、3D表示に、チェックを外すと、平面表示になります。「奥行き軸表示」のチェックをいれると奥行き軸が表示されます。奥行き軸のスライダーを動かすと奥行き幅を設定できます。



グラフ作成機能9



▶ グラフ作成: 背景色の変更

グラフの背景色が変更できる！！

▶ ここでの注意ポイント！

■ キーワード × 出願人(出願数) +

対象公開 特許・公告 28件 文書数
公開・公表 635件 同一要索間省略

全文書 1323件 対象 663件 キーワード × 出願人(出願数)

種類 種
縦軸を前後に並べる(3D用)
ラベル 上寄せ 角度 0 省略表示 凡例を表示

ズーム 100 横位置 縦位置 3D 3Dで表示 奥行き軸表示 奥行き 軸名称の編集 フォント・色設定

表示設定 リセット 読込

画像をコピー 画像の保存 CSVで保存 全文書一覧 選択一覧 縦軸範囲 自動 最大 132 最小 0 間隔 0

リチウム 固体電解質 材料 正逆起電力 形成 パッケージ 固体電解質

120 100 80 60 40 20 0

40 40 39 28 36 37

132 132 107 107 84 98

色の設定 基本色(B): 作成した色(C): 色の作成(D) >> OK キャンセル

色合い(E): 160 赤(R): 255 鮮やかさ(S): 0 緑(G): 255 明るさ(L): 240 青(B): 255 色の追加(A)

グラフ内ラベルの書体・文字サイズ、表示角度、表示／非表示が選択できる

■ フォント・背景色の選択

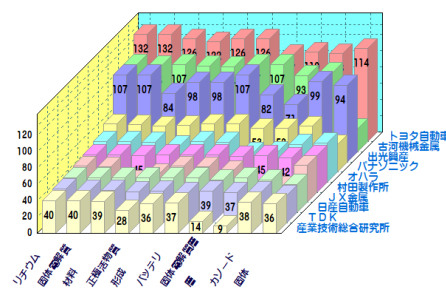
「フォント・色選択」ボタンをクリックすると、グラフ表示設定ウィンドウが立ち上がります。色を選択して「OK」をクリックすると、背景色が適用されます。チェックを外すと、色の適用が外されます。

「フォントの設定」・・・フォント、スタイル、文字サイズ、文字飾りが設定できます。ラベルと、縦軸と横軸の項目名は、表示角度が設定できます。「ラベルを表示」のチェックをはずすと、グラフ内ラベルが非表示になります。

「凡例を表示」のチェックをはずすと、凡例が非表示となります。

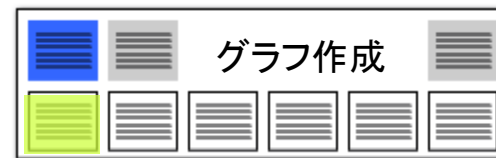
「初期値に戻す」・・・表示色の設定、フォントの設定を初期状態に戻します。

「ファイル保存」「ファイル読込」・・・ファイルにグラフ詳細設定の設定を保存することや、読込を行なうことができます。

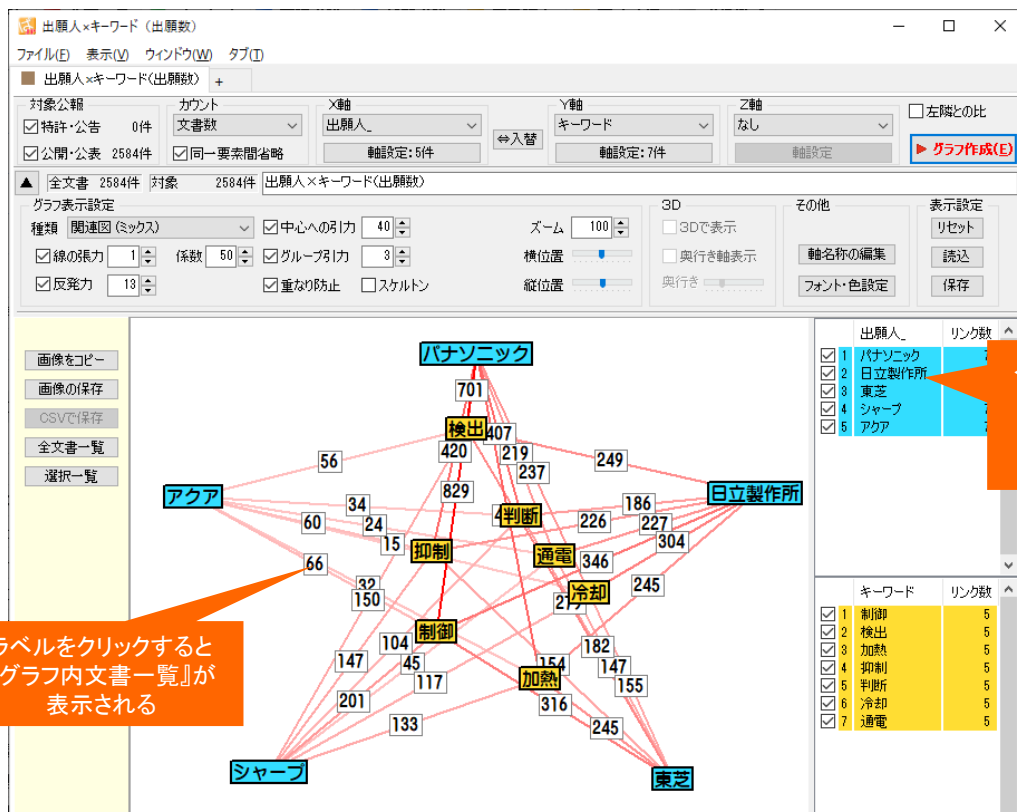




グラフ作成機能10



▶ グラフ作成: 関連図



ラベルをクリックすると『グラフ内文書一覧』が表示される

ノード一覧でノードの選択やソートができる。チェックを外すと、そのノードは非表示になる

グラフ表示設定

種類 関連図 (軸対軸)

☒ 中心への引力 20

☒ 線の張力 40 係数 10

☒ 反発力 49

☐ 類似要素引力 30

☒ 重なり防止

ズーム 横位置 縦位置

ズーム、横位置、縦位置はスライダーで調節

▶ ここでの注意ポイント！

■ 関連図

「中心への引力」…各ノードを画面の中心部に引き寄せる強さです。

「類似要素引力」…類似するコードなどを近くに集めることができます。

「線の張力」…関連線がつながれたノード同士を近づけようとする力です。

「係数」…件数×係数を「線の張力」に合算します。件数の多い、つまり関連度合いの強いノードを近くに寄せることができます。

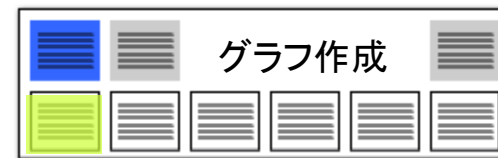
「重なり防止」…チェックを入れておくと、ノードが重なりあって表示されることを防止します。

「反発力」…ノード間の反発力です。数値が大きいほど、ノード同士が離れようとしています。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

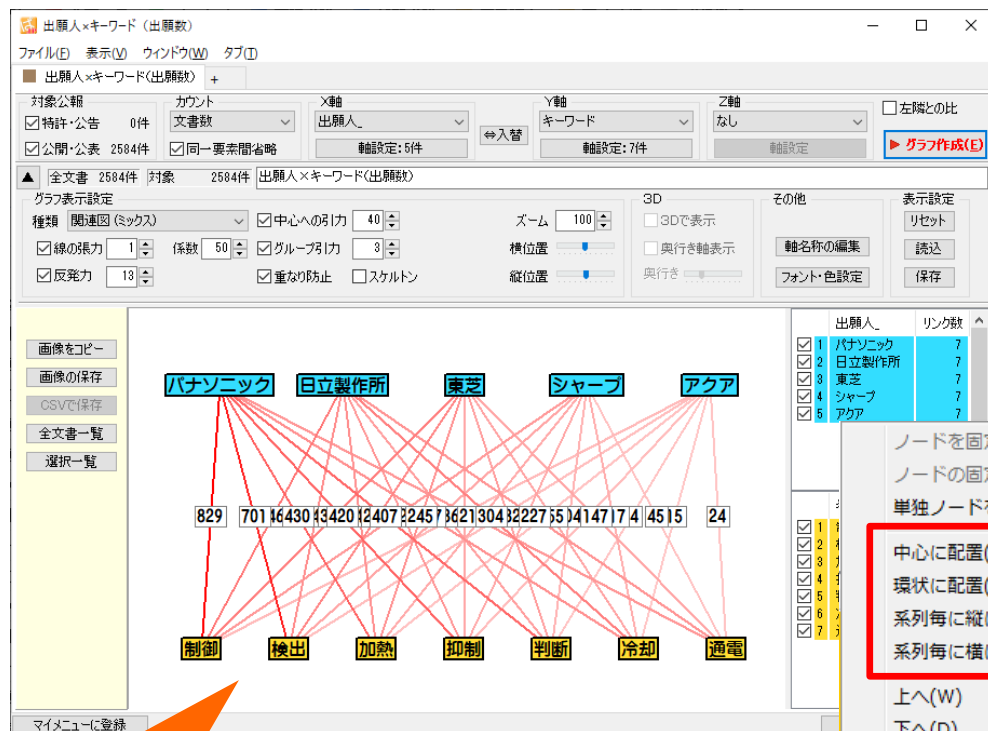


グラフ作成機能11



▶ グラフ作成: 関連図(コンビ)

▶ ここでの注意ポイント!



■ 関連図(コンビ)

関連図(コンビ)は、X軸に選んだ項目と、Y軸に選んだ項目を対比して、要素間のつながりをビジュアル化することができます。

Z軸を用いて、3軸の対比を行なうこともできます。

右クリックメニューで、ノードを整列させると、要素間の関係性がわかりやすくなります。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

右クリックメニューでノードを整列させることができる

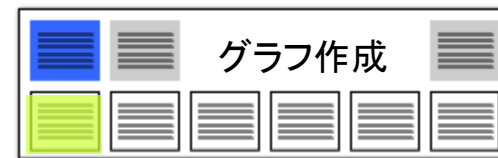
『系列毎に縦に配置』を選んだ状態。X軸対Y軸の関係性がわかる

出願人×ワードなど、項目ごとの対比ができる

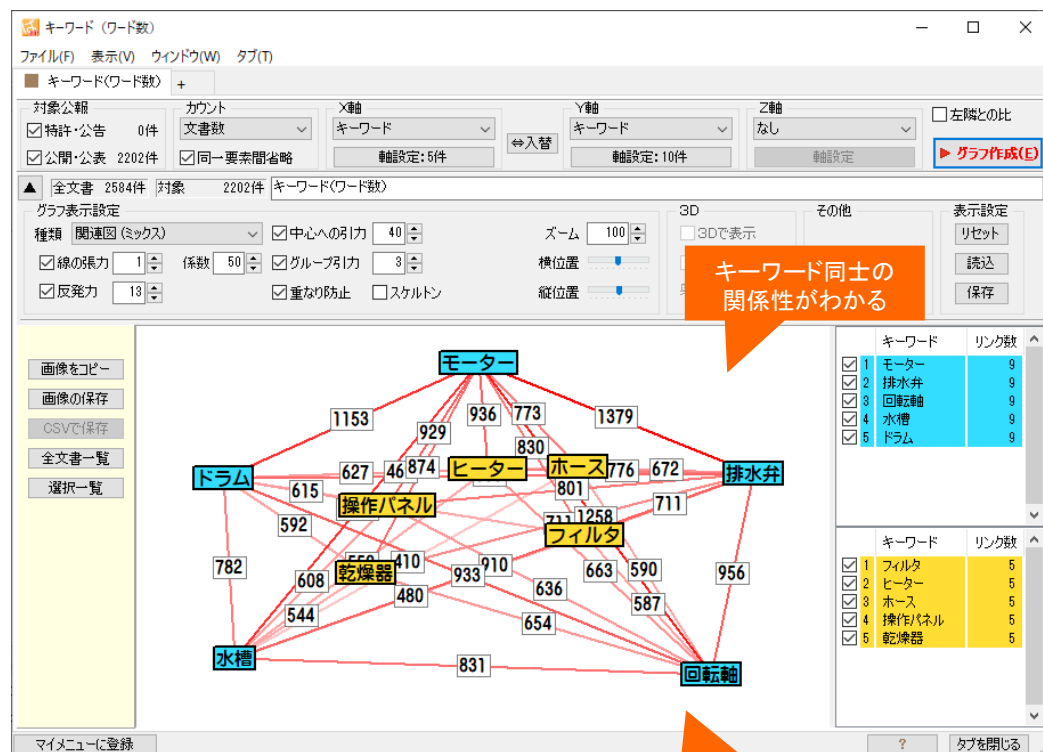
- ノードを固定(L)
- ノードの固定解除(U)
- 単独ノードを非表示(V)
- 中心に配置(C)
- 環状に配置(R)
- 系列毎に縦に配置(Y)
- 系列毎に横に配置(X)
- 上へ(W)
- 下へ(D)
- 先頭へ(T)
- 末尾へ(B)
- 全項目を選択する(A) Ctrl+A
- 全項目の選択を解除(Z) Ctrl+D
- 全項目の選択を反転する(I) Ctrl+I
- 検索(F) Ctrl+F



グラフ作成機能12



▶ グラフ作成: 関連図(ミックス)



キーワード同士の
関係性がわかる

関連図(ミックス)は、
X軸とY軸で同じ項目を
選んだ場合省略されます

▶ ここでの注意ポイント！

■ 関連図(ミックス)

関連図(ミックス)は、X軸とY軸に同じ項目の異なる要素を選択することを前提にしています。
たとえばX軸とY軸で、それぞれ異なるキーワードを選択し、X軸のキーワード群と、Y軸のキーワード群の関連性を浮き彫りにすることができます。

X軸とY軸に同じ要素(たとえば同じ単語)を選択した場合は、要素の重複を防ぐため、X軸の要素だけを残して整合性を図ります。
Z軸を用いて、3軸の対比を行なうこともできます。

右クリックメニューで、ノードを整列させると、要素間の関係性がわかりやすくなります。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

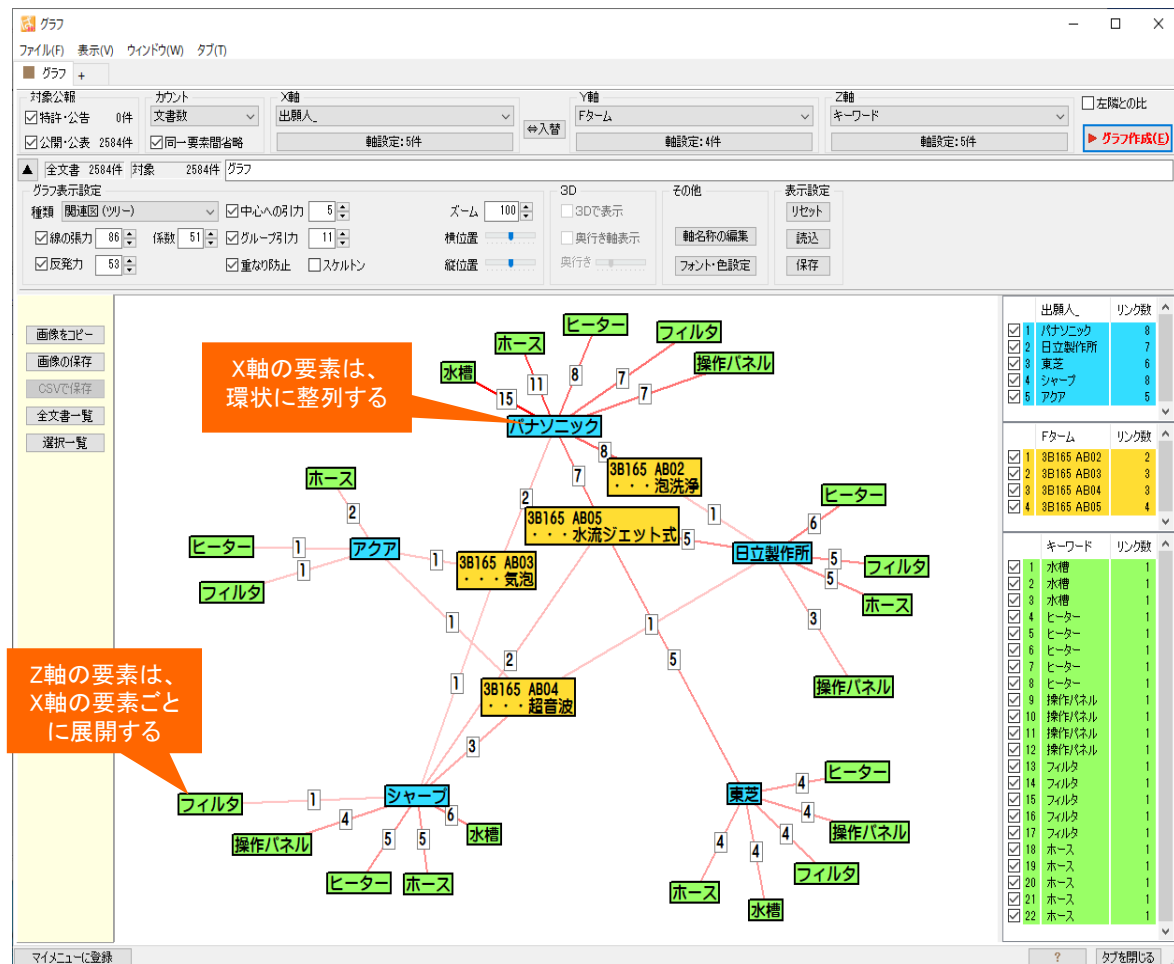
キーワード×キーワードなど、同一項目内でのつながりをビジュアル化



グラフ作成機能13



▶ グラフ作成: 関連図(ツリー)



▶ ここでの注意ポイント！

■ 関連図(ツリー)

関連図(ツリー)は、X軸に選んだ要素を環状に整列させ、その内側にY軸の要素を、外側にZ軸の要素を展開します。

Z軸の要素は、X軸の要素ごとに展開します。

たとえば出願人をX軸とし、Y軸に技術分野を示す分類コード、Z軸に課題に関するキーワードを選択すると、当該分野における企業ごとの開発・出願傾向を簡単にビジュアル化することができます。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

内側と外側の要素が、X軸の特徴を浮き彫りにする！



グラフ作成機能14



選択範囲に含まれる文書だけを抽出できる——関連図

範囲選択した文書が一覧表示できるようになりました！

画像をコピー
画像の保存
CSVで保存
全文書一覧
選択一覧

マウスで範囲を選択して、「選択一覧」ボタンをクリックすると...

グラフ内文書一覧:キーワード x 出願人 (出願数)

出願人	発明の名称
1 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	全固体リチウムイオン電池
2 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	全固体リチウムイオン電池
3 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	硫化物系固体電解質及び全固体リ
4 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	硫化物系固体電解質及び全固体リ
5 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	全固体リチウムイオン電池及び全
6 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	硫化物系固体電解質及び全固体リ
7 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	硫化物系固体電解質及び全固体リ
8 ☐ JX金属株式会社 (502362758/JX METALS CORPORA	全固体リチウムイオン電池

表示項目選択
☐ 全て表示
全チェック 全解除
☒ 出願人
☒ 発明の名称
☒ 発明者
☒ 出願日
☒ ノイズ
☒ 重要度1
☐ 合計
上へ 先頭へ
下へ 末尾へ
保存 読込
記憶 呼出
☒ 自動記憶
文書一覧(メイン)と同期

- 「関連図」で気になる範囲をマウスで選択すると、その範囲に含まれるラベルに対応した公報が一覧表示できます。
- グラフ画面左の「全文書一覧」ボタンをクリックすると、グラフ内に含まれるすべての公報の一覧が表示されます。
- 「選択一覧」ボタンをクリックすると、選択した範囲に含まれる公報の一覧が表示されます。
- 右クリックメニューにも、「選択した文書一覧」を追加しました。

選択した範囲に含まれる公報の一覧を表示



グラフ作成機能15



▶ グラフ作成:複数グラフ

それぞれのグラフの画像やデータをまとめて保存できる

画像をコピー

画像の保存

CSVで保存

全文書一覧

選択一覧

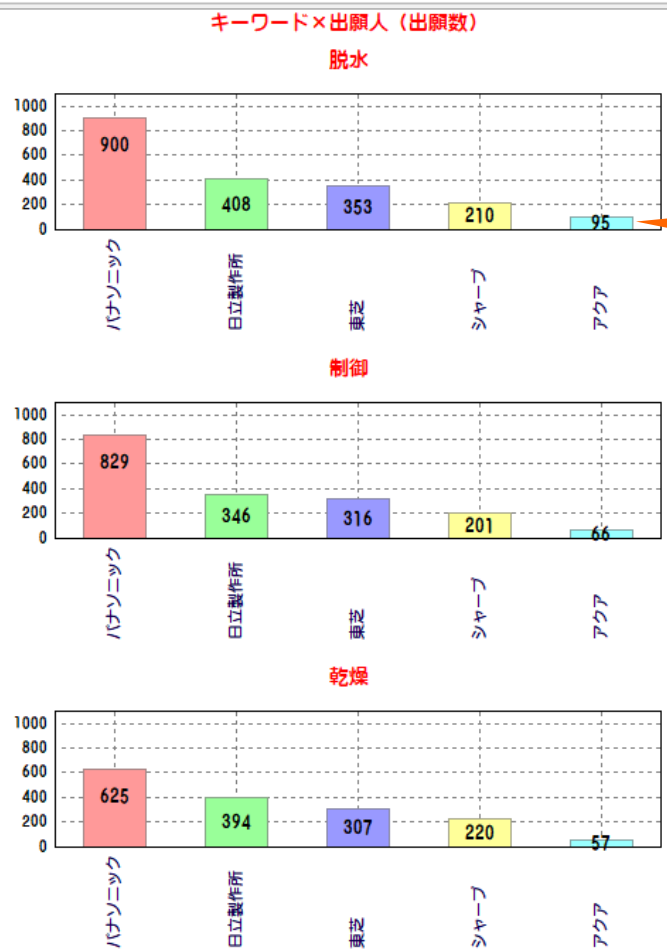
縦軸範囲

☐ 自動

最大 1000

最小 0

間隔 0



「表示高さ」を調節すると見比べやすくなる

▶ ここでの注意ポイント!

■ 複数グラフ

グラフの種類で、
「複数_棒」
「複数_折線」
「複数_バブル」
「複数_データ表」
が選択できます。

複数のグラフを縦に並べ、比較しやすく表示します。

グラフ表示設定

種類 複数_棒

縦軸を前後に並べる(3D用)

☒ 凡例を表示

☐ ラベルを表示

ラベル角度 0

その他

表示高さ 200

軸名称の編集

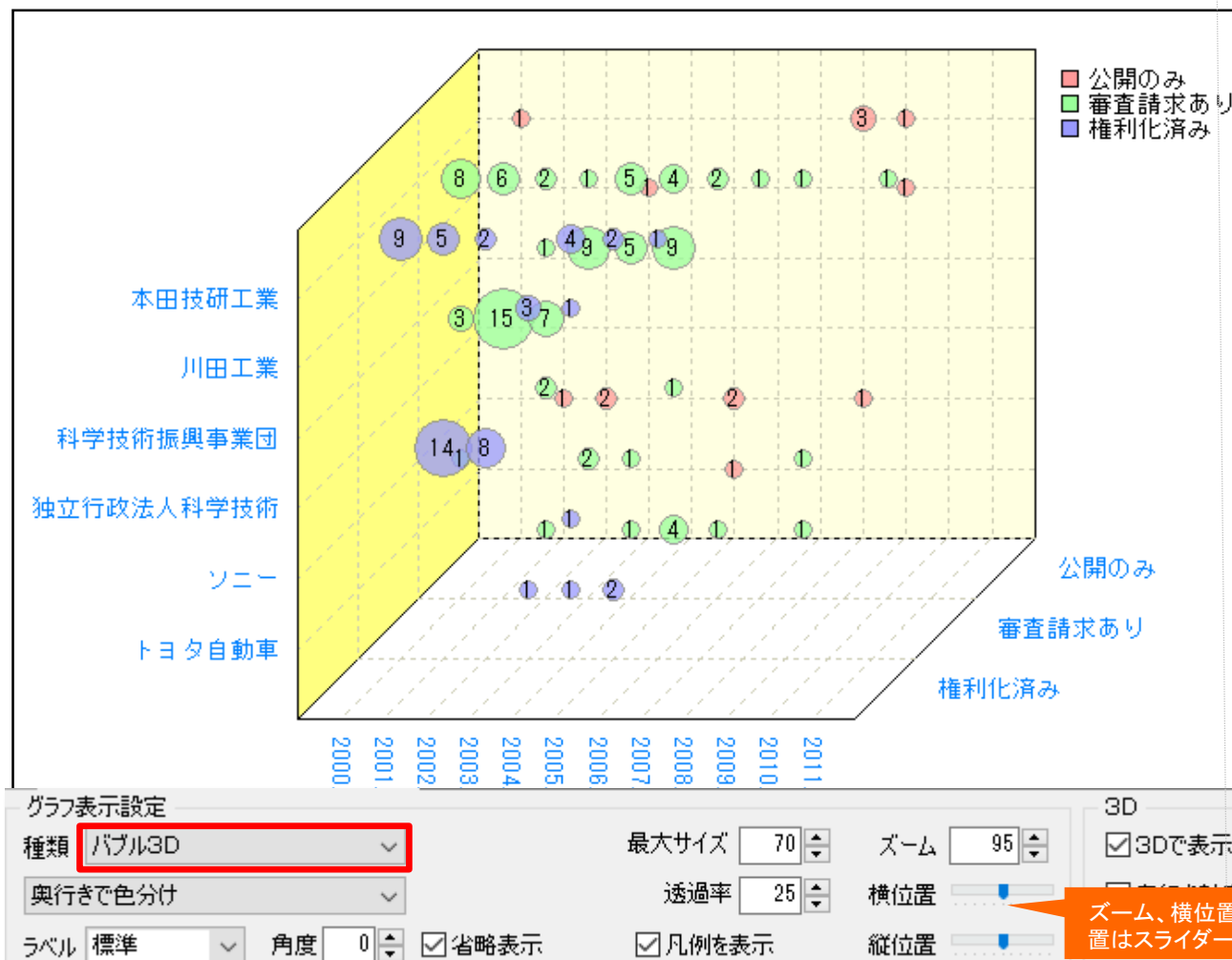
フォント・色設定



グラフ作成機能16



▶ グラフ作成:3Dバブル



▶ ここでの注意ポイント！

■ 3Dバブル

左の図の、「キーワード」×「項目」×「コード」×「文書数」のように、タテ×ヨコ×奥行×数量の4つの軸でグラフが作成できます。戦略分析で「3Dバブル」が選択できるのは、「競合出願時系列分析」、「項目／キーワード分析」です。グラフブラウザからは、いつでも「3Dバブル」が選択できます。

Shiftキーを押しながらマウス操作をすると、「回転」「仰角」のスライダーと同じ操作が行えます。

Ctrlキーを押しながらマウス操作をすると、「ズーム」「奥行き」のスライダーと同じ操作が行えます。

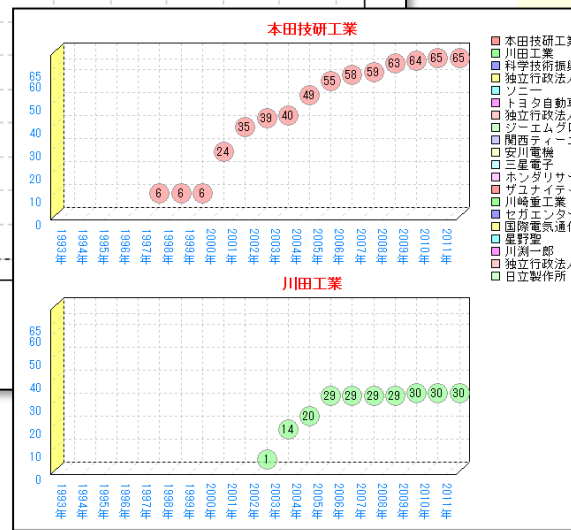
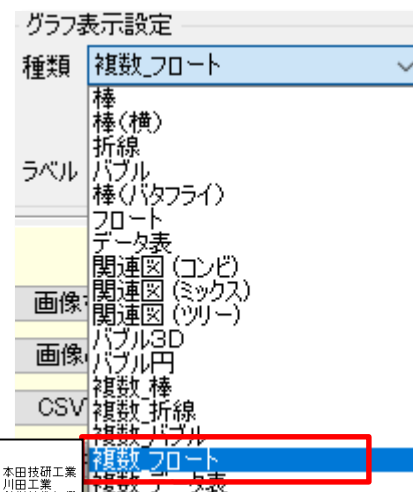
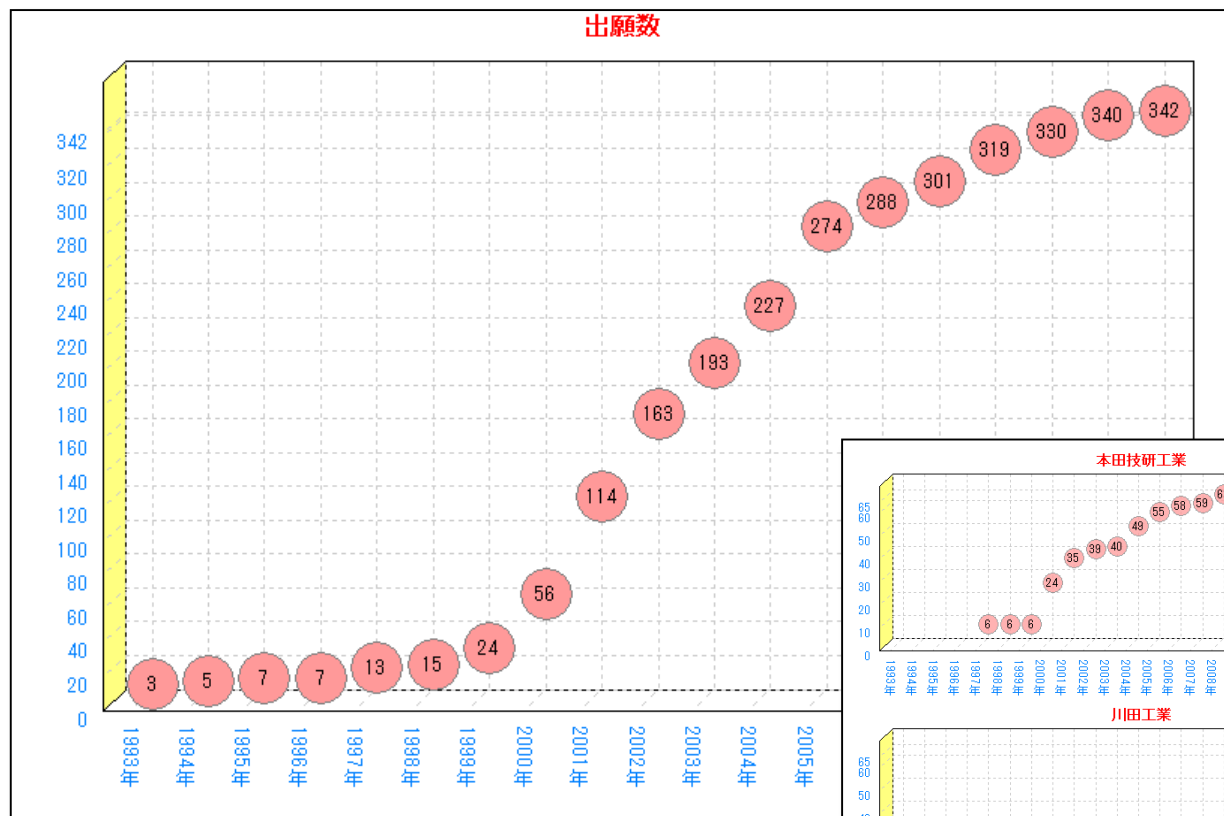


グラフ作成機能17



▶ グラフ作成:フロード

X軸とY軸を選択(例:出願年×出願人)して、複数フロードでグラフ実行すると「複数のグラフ」を比較する事ができる！



グラフ種類に「フロード」と「複数_フロード」を追加しました。
折線グラフの線を省略し、ポイントを円にした形になります。



グラフ作成機能18



▶ 軸項目の名称編集

グラフの軸項目を好きな表記に変更できる！



右クリックメニューで
名称の変種が可能



グラフの軸項目の編集機能が追加されました。
項目名上で右クリックして、「名称編集」をクリックします。



グラフ作成機能19

グラフの軸名を一括編集できる！！



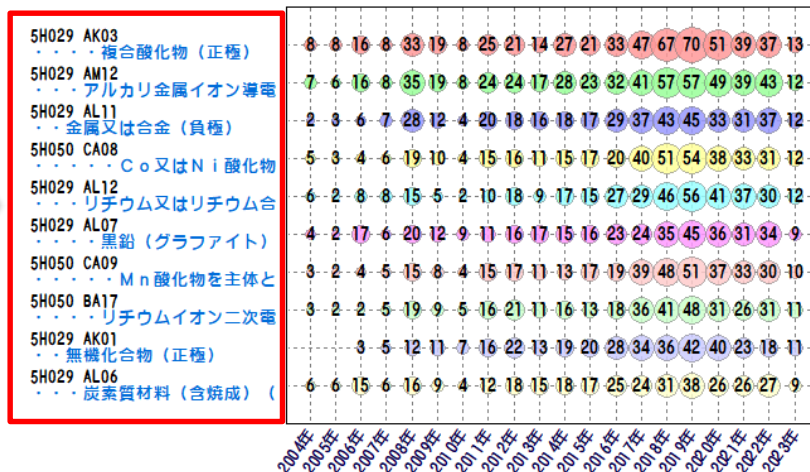
グラフ軸名称の編集



グラフの軸に説明を記載可能

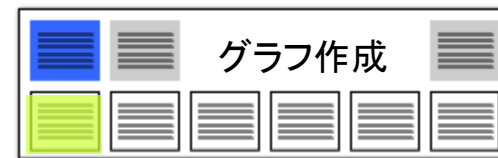
- グラフブラウザの「軸名一括編集」ボタンをクリックすると、「軸の表示名を一括編集」ウィンドウが表示され、軸名を編集することができます。
- また、2行目に説明を追記することができます。
- 分類コード(FI、Fターム、ファセット、IPC、CPC)を軸にしたグラフの場合は、「PMGS説明を2行目に入力」ボタンをクリックすると、コードの説明が入力されます。
- キーワードを軸にしたグラフの場合は、グループワード辞書で設定したグループワードが、入力されます。
- 出願人・代理人・発明者のいずれかの項目を軸にしたグラフの場合は、名称グループ辞書で設定したメンバーが、入力されます。
- 関連図でもご利用いただけます。

※ 「軸名の字数」は、最大99文字まで設定できます。



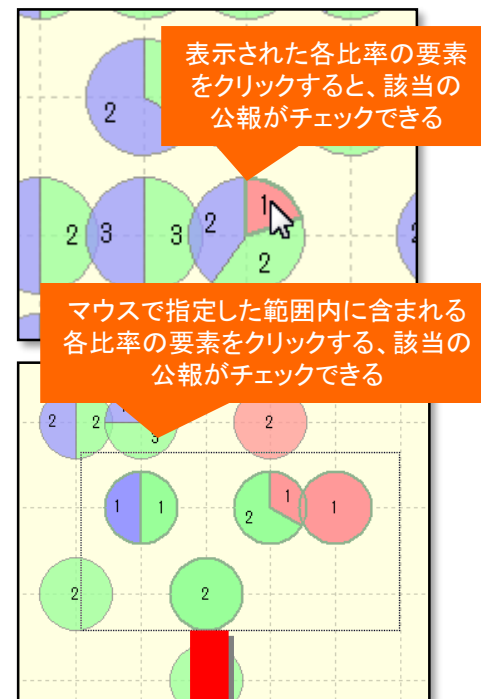
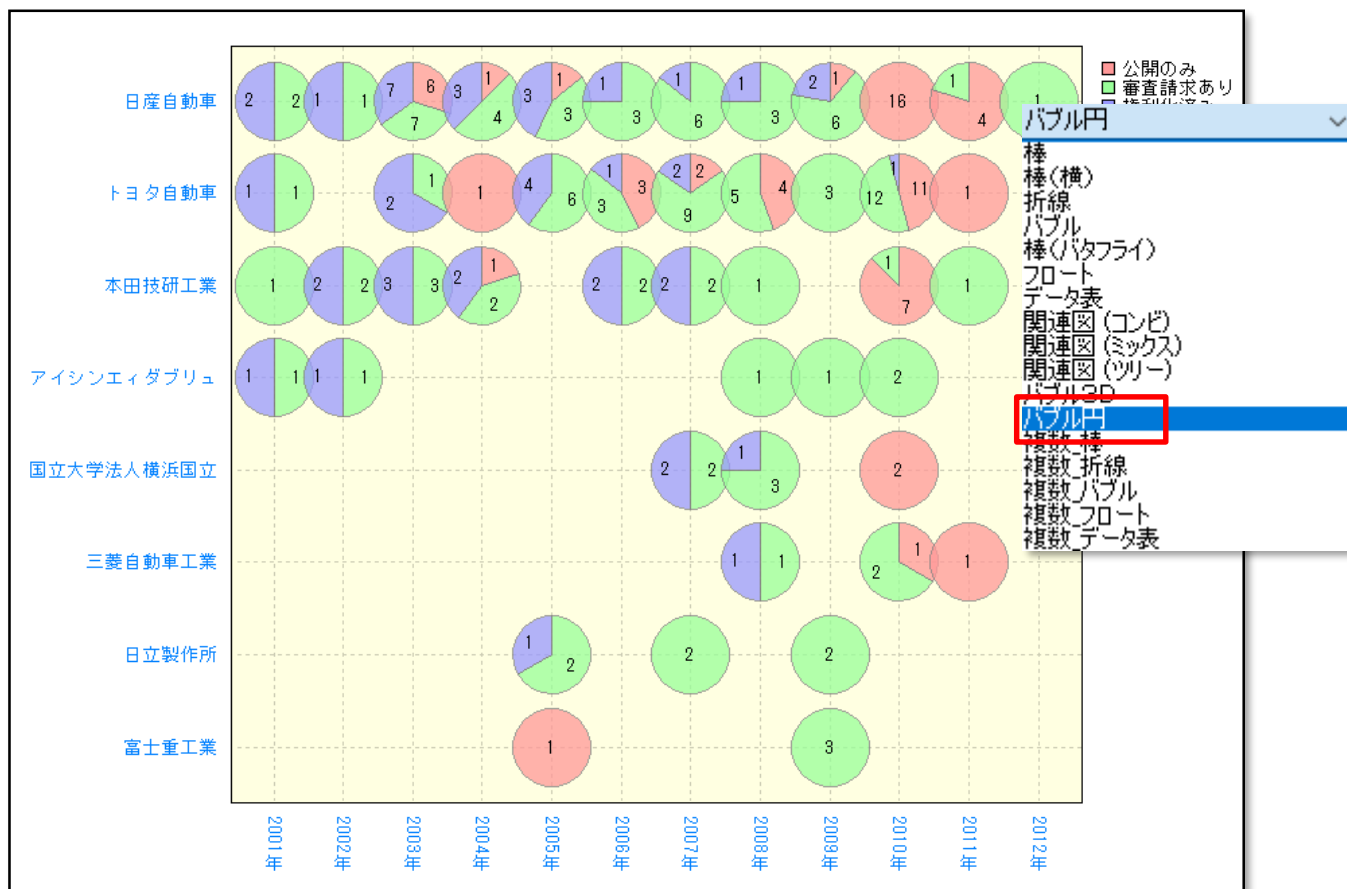


グラフ作成機能20

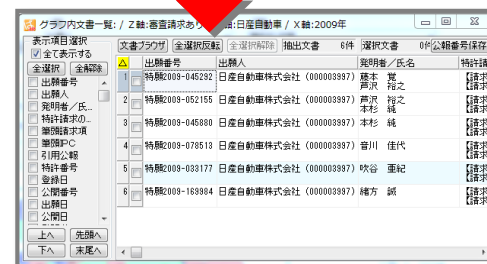


▶ グラフ作成: バブル円

バブルチャート内に割合グラフが作成可能。



グラフ種類に「バブル円」を設け、バブルチャート内の各バブルに、Z軸で設定した項目データに基づく円比率グラフを表示します。バブルの大きさは「大きさを一定」「大きさを可変」の2種が選択できます。



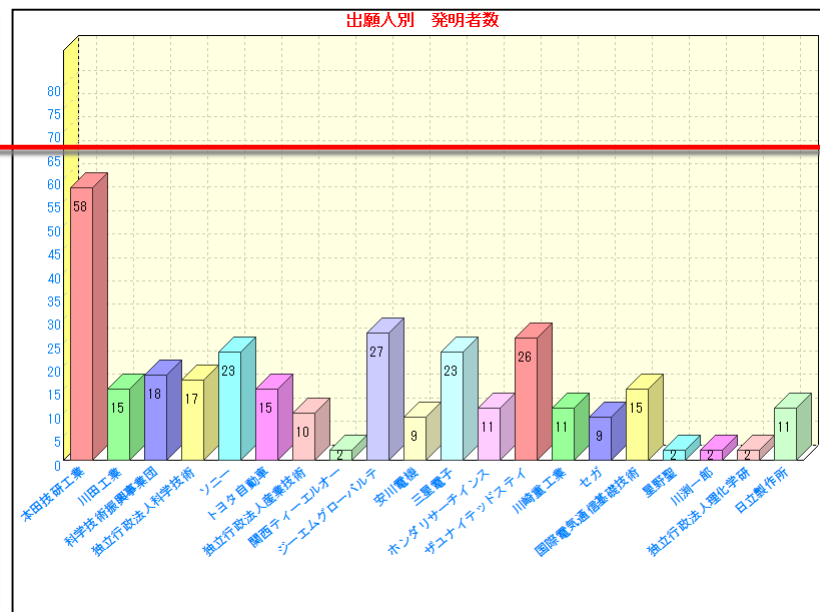
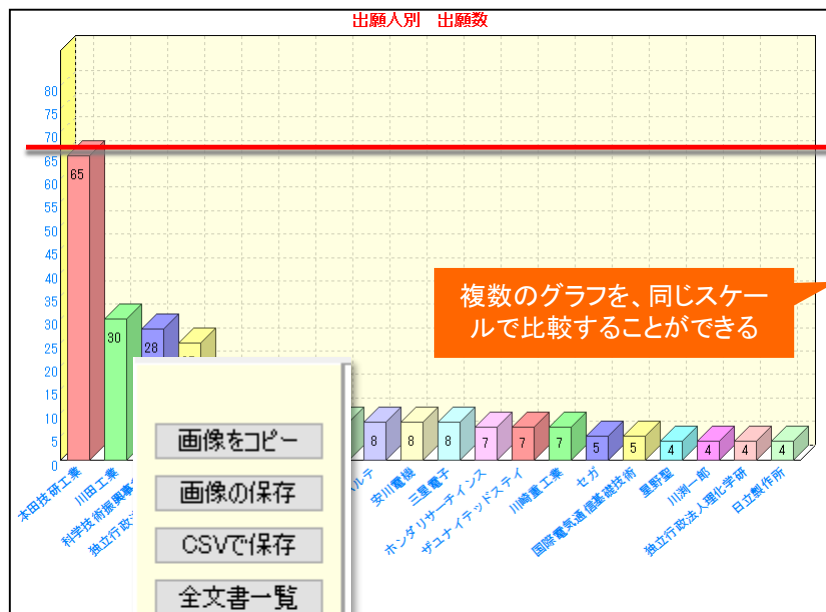


グラフ作成機能21



グラフのスケールを任意に調整できる！！

複数のグラフを比較するときに、スケールを揃えることができる！



範囲の設定は以下のグラフの縦軸で使用可能です。

- ・「棒グラフ」
- ・「折れ線グラフ」
- ・「フロート」
- ・「複数_棒」
- ・「複数_折線」
- ・「複数_フロート」

画像をコピー

画像の保存

CSVで保存

全文書一覧

選択一覧

縦軸範囲

☐ 自動

最大

最小

間隔

グラフのスケールの最大値と最小値を設定できる

- 数値軸をもつグラフでは、縦軸に表示する範囲を手動で設定できるようになりました。
- 複数のグラフを作成した時、同じスケールでグラフを比較することができます。
- デフォルトでは、「自動」にチェックが入っています。最大、最小の値を変更すると、「自動」のチェックがはずれ、任意のスケールに変更することができます。
- グラフごと(タブごと)にスケールを変更することができます。グラフを閉じる(タブを閉じる)と、設定は消え、新しいグラフを作成する際には、「自動」にチェックが入ります。



グラフ作成機能22



▶ その他をまとめる機能

チェックを付けていない項目を「その他」として合算

軸項目の設定

全選択 全解除 総合ランキングから取得 ぱっとクリップ

総合計の集計 ☐ する ☐ 総合計のみ ☒ その他をまとめる

集計基準 ☐ 出現数 ☒ 文書数 区切指定 タムコードま 一覧更新

どれか含む クリア

	出現数	文書数	データ	説明
☒	1	565	565	5H029 AK03
☒	2	545	545	5H029 AM12
☒	3	418	418	5H029 AL11
☒	4	404	404	5H050 CA08
☒	5	393	393	5H029 AL12
☒	6	382	382	5H029 AL07
☒	7	381	381	5H050 CA09
☒	8	364	364	5H050 BA17
☒	9	360	360	5H029 AK01
☒	10	348	348	5H029 AL06
☐	11	347	347	5H029 HJ02
☐	12	331	331	5H050 CB11
☐	13	298	298	5H050 CB12
☐	14	284	284	5H050 CB08
☐	15	271	271	5H029 AL03
☐	16	271	271	5H050 CA01
☐	17	260	260	5H050 BA16
☐	18	260	260	
☐	19	259	259	
☐	20	257	257	

チェックの無い項目が、
まとめて「その他」として
集計される

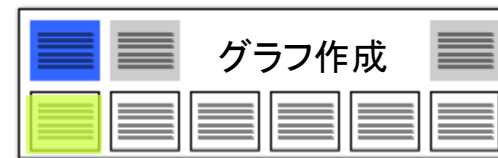
2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年

5H029 AK03 5H029 AM12 5H029 AL11 5H050 CA08 5H029 AL12 5H050 CA09 5H050 BA17 5H029 AK01 5H029 AL06 その他

- グラフ作成時に、軸項目としてチェックを付けなかった項目を、まとめて「その他」としてグラフに描画する機能が搭載されました。
- 『軸設定』をクリックし、「その他をまとめる」にチェックを入れると、チェックのない項目だけをまとめて、「その他」として描画することができます。
- 注目する項目と、その他の項目とを比較するグラフが作成できます。



グラフ作成機能23



グラフ作成

▶ Y軸のみでグラフ作成

X軸を「なし」にして、
Y軸だけでグラフを作成

縦軸だけのグラフを作成

キーワード

ファイル(F) 表示(V) ウィンドウ(W) タブ(T)

■ キーワード +

対象公報
☒ 特許・公報 28件
☒ 公開・公表 635件

カウント
文書数

X軸
なし

Y軸
キーワード

Z軸
なし

軸設定: 10件

▶ グラフ作成(E)

▲ 全文書 1329件 対象 663件 キーワード

グラフ表示設定
種類 バブル
縦軸で色分け
ラベル 標準 角度 0° ☒ 省略表示 ☒ 凡例を表示

最大サイズ 130 ズーム 98
透過率 15 横位置 縦位置

3D
☐ 3Dで表示
☐ 奥行き軸表示
奥行き

その他
軸名称の編集
フォント・色設定

表示設定
リセット
読み込み
保存

画像をコピー
画像の保存
CSVで保存
全文書一覧
選択一覧

Y軸のみで描画

項目名
☒ 1

X軸のみで描画

- グラフブラウザにおいて、X軸（横軸）を「なし」に設定し、Y軸（縦軸）のみでグラフを作成することがます。
- X軸とZ軸、Y軸とZ軸での作図も可能です。
- X軸を「なし」にした場合でも、グラフ右横の軸リストにはX軸のリストのためのスペースとチェックボックスが表示されます。



グラフ作成機能24

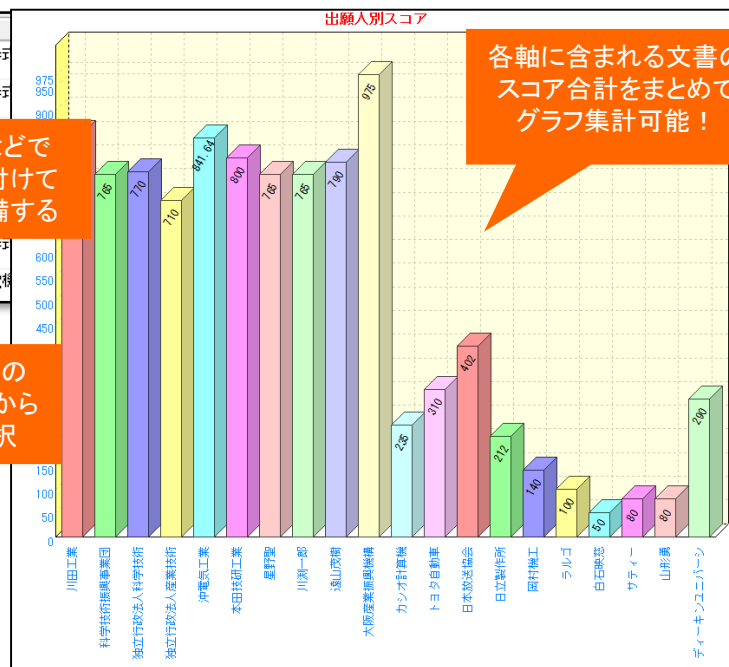
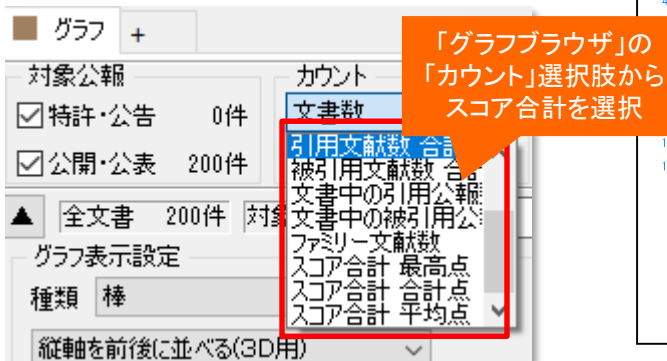


【グラフブラウザ】スコアのカウント

文書のスコアをグラフに反映して傾向を把握！

	スコア ₁	スコア ₂	ノイズ ₁	スコア ₂	合計%	出題人
1	491.42	740.00	0.00	1231.42	100.00	本田技研工業株式
2	430.00	800.00	0.00	1230.00	99.88	本田技研工業株式
3	425.00	800.00	0.00	1225.00		
4	525.00	670.00	0.00	1195.00		
5	520.00	670.00	0.00	1190.00		
6	406.41	690.00	0.00	1176.41	95.53	本田技研工業株式
7	535.00	620.00	0.00	1155.00	93.75	株式会社安川電機

「特許評価」などで
文書スコアを付けて
【合計₁】を準備する



■ 集計方法について

スコア合計カウントの集計方法は 以下の3種類から選択できます。

- スコア合計 最高点
該当する文書の中での最高点
- スコア合計 合計点
該当する文書すべての合算
- スコア合計 平均点
該当する文書すべての平均点

【スコア合計の集計について】

各文書には「スコア」に関する項目は【特許評価1】+【特許評価2】-【ノイズ】=【合計₁】の式で合計が自動計算されています。
(※ 「特許評価1」で【特許評価1】【ノイズ】を、「特許評価2」で【特許評価2 [1][2][3][4][5]】を付与できます)
グラフブラウザのスコア合計は、この【合計₁】を対象として集計を行います。



グラフ作成機能25

【グラフブラウザ】軸名の表示位置設定



「フォント・色指定」をクリックすると
グラフ詳細設定ウィンドウが開く

グラフ詳細設定

軸ラベルの表示位置

☐ 上
☒ 左 ☐ 右
☒ 下

軸ラベルの表示文字数

横軸
縦軸
奥軸
凡例

表示色の設定

背景色
☒ グラフ背景
☒ グラフ左面
☐ グラフ下面
図の枠線

フォントの設定

☐ フォント

ラベル ☐ フォント

横軸

タイトル1行目 ☐ フォント 角度
タイトル2行目 ☐ フォント 左寄せ

縦軸

タイトル1行目 ☐ フォント 角度
タイトル2行目 ☐ フォント 左寄せ

奥軸

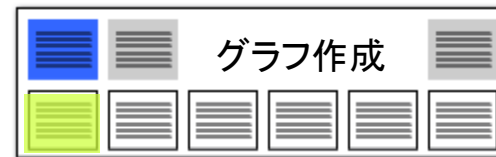
タイトル1行目 ☐ フォント 角度
タイトル2行目 ☐ フォント 左寄せ

凡例

タイトル1行目 ☐ フォント 角度
タイトル2行目 ☐ フォント 左寄せ

チェック箇所を一括変更

初期値に戻す ファイル保存 ファイル読込 OK キャンセル



ここでの注意ポイント！

- グラフの軸名の表示位置を上下左右に指示できるようになりました。

「グラフブラウザ」において、グラフの軸名の表示位置を設定することができるようになりました。

「フォント・色指定」をクリックして、グラフ詳細設定ウィンドウを開き、上下左右のいずれかにチェックを入れ、軸ラベルの表示位置を指定します。

フォントの指定などをより細やかに指定できるようになりました。

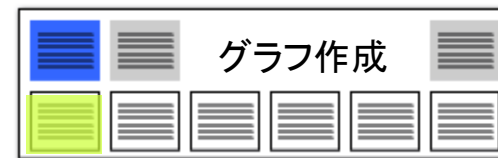
縦軸、横軸、奥軸、凡例で、軸名(軸ラベル)の表示文字数を、それぞれ個別に指定できるようになりました。

ワード分解設定画面に「初期値に戻す」ボタンを追加しました。「適用」ボタンで変更が確定となります。

- ※ 一時環境での使用の場合、「ぱっとマイニングJP」で登録された時点での情報が反映されます。

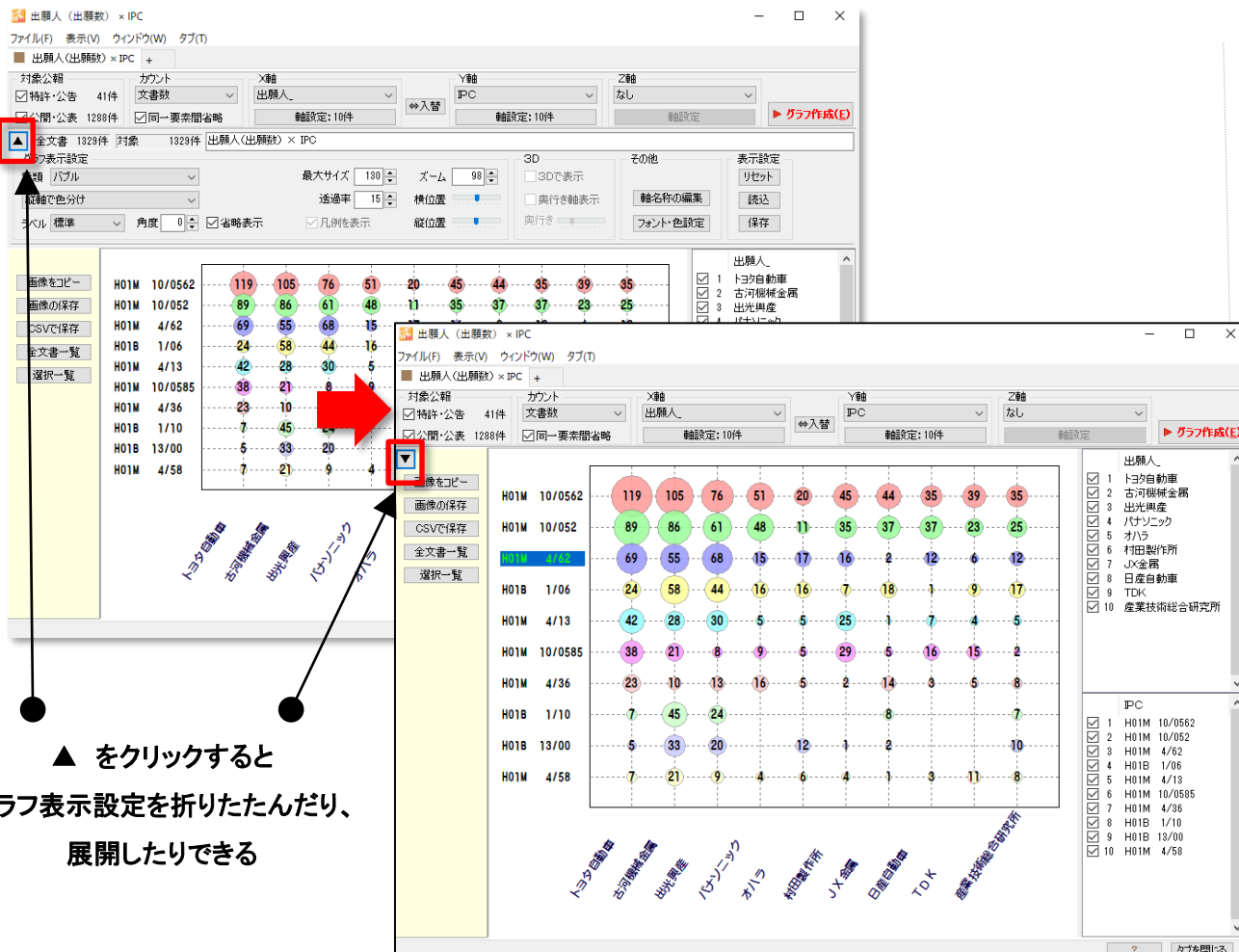


グラフ作成機能26



【グラフブラウザ】描画スペースの拡張

▲マークのクリックで、表示設定パネルの開閉



- グラフ表示設定パネルの折りたたみ
- 「グラフブラウザ」のグラフ表示設定パネルを折りたたんだり、展開したりできるようになりました。
- グラフ表示設定パネルの「▲」マークをクリックすると、グラフ表示設定パネルが開閉します。



グラフ作成機能27



【グラフブラウザ】チェック数と全件数の表示

設定アイコンをクリックすると、
ランキング設定ウィンドウが開く

軸項目の設定

全選択 全解除 総合ランキングから取得

総合計の集計 ☐ する ☐ 総合計のみ

集計基準 ☐ 出現数 ☒ 文書数 区切指定 全部 一覧更新

どれか含む

	出現数	文書数	データ	説明
☒ 1	1093	1093	H01M 10/0562	・・・固体 [...
☒ 2	901	901	H01M 10/052	・・・リチウムニ...
☒ 3	504	504	H01M 4/62	・・・固形活物質...
☒ 4	288	288	H01B 1/0	・・・主として他の...
☒ 5				
☒ 6				
☒ 7				
☒ 8				
☒ 9				
☒ 10				
☒ 11				
☒ 12				
☒ 13				
☒ 14	127	127	H01M 4/38	・・・元素また...
☒ 15	103	103	H01M 4/66	・・・物質の選...
☒ 16	102	102	H01M 4/131	・・・複合酸化...
☒ 17	102	102	H01M 10/36	・・・H O 1 M 1 O...
☒ 18	101	101	H01B 1/08	・・・酸化物
☒ 19	100	100	H01M 10/058	・・・構造または...
☒ 20	99	99	H01M 4/199	・・・無機化合物

環境設定 - ランキング

☐ ランキングの集計順位を 100 位までに制限

ランキング集計後にチェックを付ける順位 : 上位 20 位まで

OK キャンセル

チェック 10 件 抽出 471 件 全 471 件

OK キャンセル

チェックを付けた数と
抽出数、全件数が表
示される

ここでの注意ポイント！

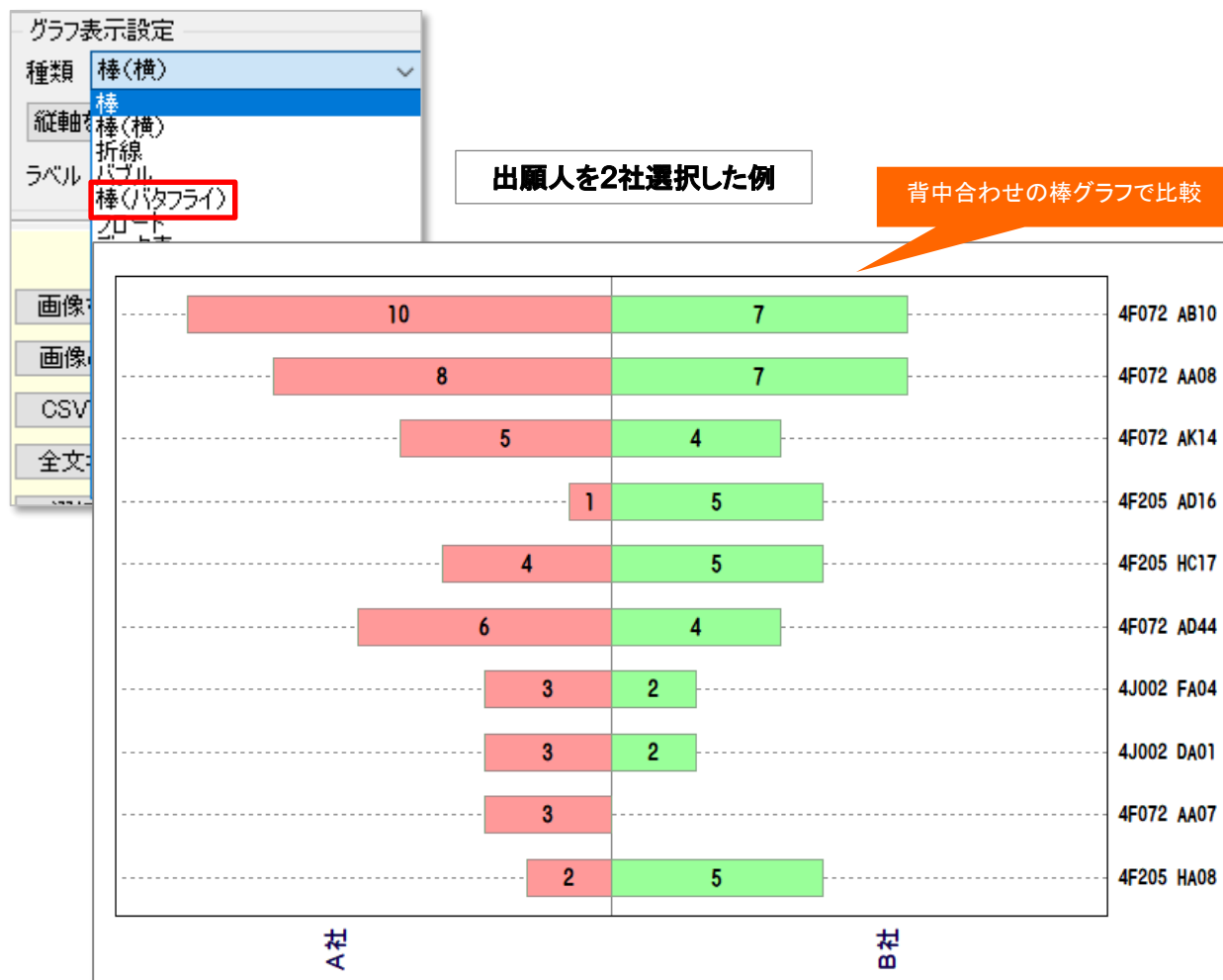
- グラフの軸設定画面に、チェック数と全件数の表示を追加しました。
- 軸設定画面に、ランキング順位の上限や自動チェック数の設定アイコンを追加しました。
- 「軸設定」ボタンをクリックして開く「軸項目の設定」ウィンドウ内に、設定アイコンを配置しました。
- 設定アイコンをクリックすると、「環境設定・ランキング」ウィンドウが開き、ランキングの集計順位の制限やランキング集計後に自動的にチェックをつける順位を変更することができます。
- 「軸項目の設定」ウィンドウ内に、現在、チェックを付けている数の表示と、全件数を表示するようにしました。



グラフ作成機能28



▶ グラフ作成: 棒(バタフライ)

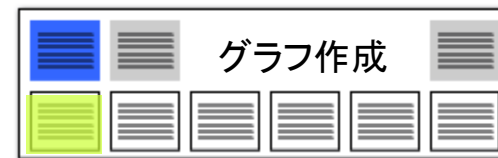


▶ ここでの注意ポイント!

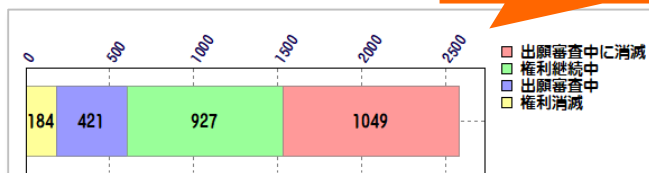
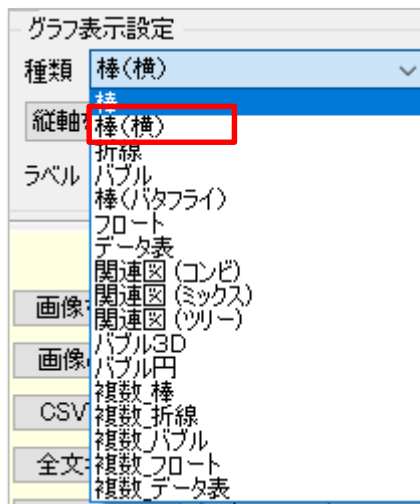
- 横向き棒グラフを背中合わせに表示することにより、数量対比が見やすく表示できます。
- X軸に出願人等を選択するパターンが一般的ですが、工夫次第で色々な比較に利用できます。
- デフォルトの選択(上位20位まで)で作成するとグラフが煩雑になるので、「軸設定」で比較する対象を絞り込んでからグラフを作成します。



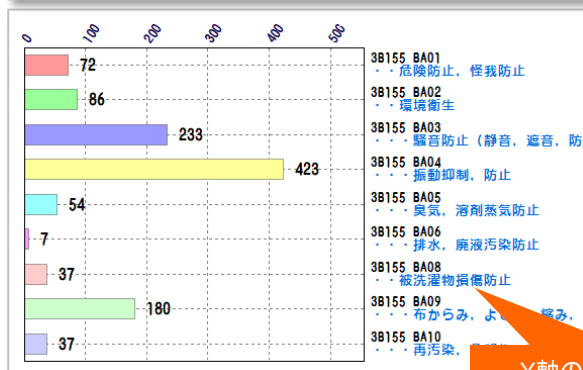
グラフ作成機能28



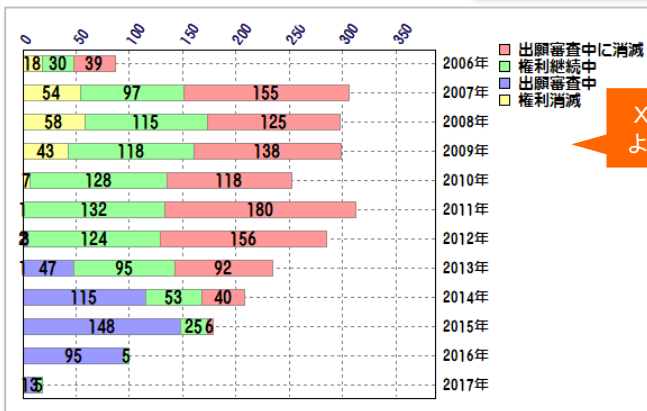
▶ グラフ作成:棒(横)



X軸のみを入力することで
全体総数とその内容が確認できる



Y軸のみを入力することで
横向きの棒グラフが作成可能に



X軸とY軸を入力することで
より詳しいグラフを作成可能

▶ ここでの注意ポイント！

- 棒グラフを横向きに描画します。出願人名や分類コードなど、文字数が多くなりしがちな項目を縦軸に選択すると、見やすいグラフが作成できます。
- 横軸の棒グラフを作成する場合は、Y軸だけを使用し、グラフの種類は「棒グラフ(横)」を選択します。
- X軸やZ軸を利用したグラフも作成できます。